



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

しらこぼと

2006.4

No. 264

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O

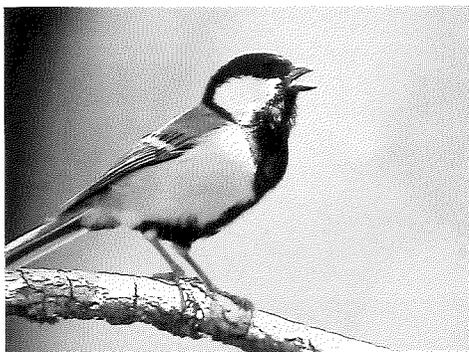


春4月! ご近所の鳥たち

海老原美夫 (さいたま市)

●さいたま市秋ヶ瀬公園で

桜の花に酔いしれたヒヨドリたちの喧騒がようやく静かになると、新緑が勢いを増そうとしている林のあちこちから、シジュウカラの囀りが聞こえてきます。



木肌の窪みや小穴などを覗いているペアもいます。虫をくわえて、忙しく行き来する姿も見かけます。

ギーギーギー、コゲラが何か怒っている声が聞こえてきました。折角掘った巣穴を、スズメが占領してしまったのです。丸い巣穴から顔を出したスズメの顔は、「丸にスズメ印」のデザインか何かになりそう。



コゲラはぶんぶん怒りながら、諦めて飛び去りましたが、結局スズメは数日後には、この巣穴に寄り付かなくなりました。罪なやつです。

カワセミが小魚を捕らえ、頭がくちばしの



先になるようにくわえ直し、チーッと飛んで行きました。少し離れた藪の向こうから、2羽で鳴き交わす声が聞こえてきます。求愛給餌でしょう。その様子を見てみたいと思いますが、遠くから見通せる場所がありません。がまんがまん。近寄らないようにします。

4月中ごろからは、キビタキやオオルリなどを期待するバードウォッチャーの姿が多くなりますが、「いつもいる普通の鳥たち」も、生き生きとしているんです。

●さいたま市大久保農耕地で

冬の間は風が寒いので足が向かなかつた大久保農耕地も、畦に小さな花々が咲きはじめます。頭の黒い夏羽のノビタキが、アシ原の端のあたりで飛び交っています。メスもいます。何羽か、アシの間でちらちらしています。

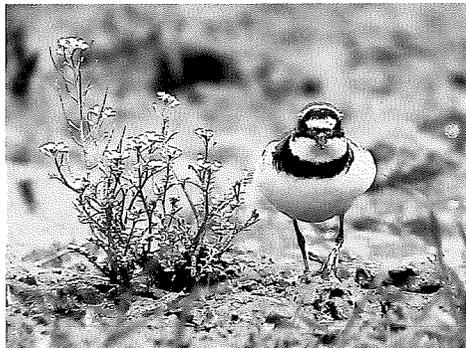


遠くから観察していると、よくとまるお気に入りへの場所が分ります。ノビタキたちが隣のアシ原に行っている間に適当な位置に椅子を据え、ゆっくりと待ちましょう。あせらないことです。追いかけたら、いい写真は撮影できません。



ケンケン、ドドドッ。キジのほろ打ちが藪の向こう側で突然爆発。これも追いかけてはいけません。何日か観察していれば、その行動が大体分ります。邪魔にならずに、自分の意図する写真が写せそうな場所とその作戦を考えるのは、それ自体が楽しい作業です。

ほかの鳥を待っていて振り向いたら、おいたのかと、目と目が合ってしまった、上の写真のようなこともあります。



ピョーピョーピッピッピッとよく響くコチドリの声も、春を実感させてくれます。田んぼを飛び回っていますが、巣を作るのは土手の近く。パイクが走り回っている空き地や、道路の上で卵を抱いたりして、ひやひやさせられます。少しは考えてくれれば、こちらも安心できるのに。

サギ類の夏羽を観察するのに最適な季節でもあります。中でもアマサギは人気者。図鑑

で言うところの「橙黄色の飾り羽」が鮮やかです。



干潟で見るチュウシャクシギもいいけれども、田んぼの花も似合います。毎年数羽が立ち寄り、ザリガニの脚を振り落とし、丸呑みにしています。

●さいたま市内某公園で



4月末には、通勤途中の公園に、ツミのペアーが姿を見せてくれます。木立を縫って、鋭く飛び交います。今年は何羽巣立つかな。

ご近所の鳥たちが待っています。
春4月！ さあ、でかけましょう！

2005年秋 埼玉県タカの渡り調査

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

本調査は(表1)の通り実施され、(表2)の結果を得ました。調査に際し天覧山タカ渡り観察グループ(世話人 大塚氏)を始め多くの方々のご協力を得、誠にありがとうございました。(小荷田行男)

表1 調査状況

調査地	標高	調査者	調査時間	天候
金勝山元氣プラザ(小川町)	264m	後藤康夫、千嶋康幸、齋藤悠雄	9/17 8:30~12:00 9/23 8:30~12:30 9/25 8:30~12:00	晴 曇のち晴 雨
物見山駐車場(東松山市、鳩山町)	130m	櫻本秀和 他7名	9/23 8:40~12:00	曇
天覧山(飯能市)	190m	天覧山タカ渡り観察グループ	9/25 8:35~12:20	小雨

表2 タカの渡り、種別観察数

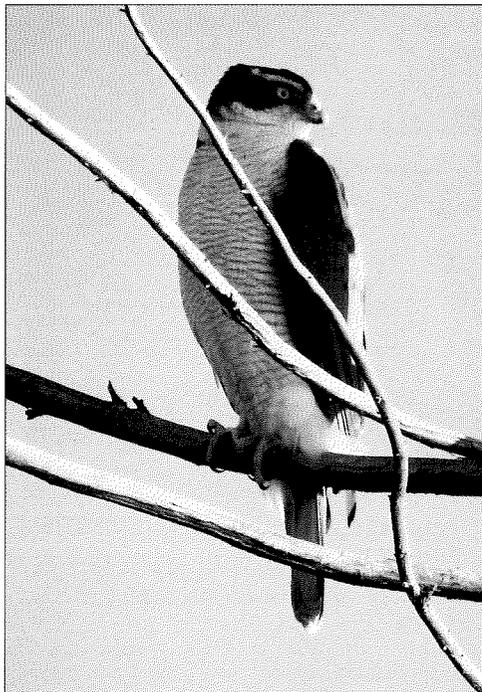
調査地	月/日	ミサゴ	ハチクマ	トビ	オオタカ	ツミ	ハイタカ	ノスリ	サシバ	チュウゲンボウ	ハヤブサ	タカSP	サシバ最大数(月/日)
金勝山元氣プラザ	9/17 9/23 9/25		1 1	7		1		4	3 13				13 (9/23)
物見山駐車場	9/23					1			2			2	23 (9/26)
天覧山	9/25												347 (9/26)

2005年秋物見山

タカの渡り観察結果

澤井 清(鳩山町)

2005年9月1日から1ヶ月間、物見山駐車場にてタカの渡りを観察したので報告(表)する。本年は26日がピーク、タカの渡りの定点観測を始めて7シーズン、物足りなさを感じた。来年は会員の皆様のご協力も得て、本格的な渡りを観察したい。



オオタカ(大澤 祐)

表 2005年9月 物見山 タカの渡り観察記録

月/日	天気	風	観察時間	ミサゴ	ハチクマ	トビ	オオタカ	ツミ	ハイタカ	ノスリ	サシバ	チュウゲンボウ	ハヤブサ	タカSP
9/1(木)	晴		9:00~12:00											
9/2(金)	晴		9:00~12:00		1									
9/3(土)	晴		9:00~12:00				3	1						
9/4(日)	雨		—											
9/5(月)	雨		—											
9/6(火)	雨		—											
9/7(水)	雨		—											
9/8(木)	快晴		7:55~13:30			1							3	1
9/9(金)	曇		9:00~12:00		1									
9/10(土)	晴		9:00~12:00			1							3	
9/11(日)	晴		9:00~12:00		1	1							2	
9/12(月)	快晴		9:00~12:00		2								18	1
9/13(火)	晴		9:00~13:30		1		1	1	2					1
9/14(水)	曇のち晴		9:00~12:00											1
9/15(木)	晴		9:00~12:00					1	1					
9/16(金)	曇のち晴		9:00~12:00											
9/17(土)	快晴	秋風	9:00~12:00				1	1	13					1
9/18(日)	晴		9:00~12:00						1	1				1
9/19(月)	晴	無風	9:00~12:00										2	1
9/20(火)	曇のち雨		—											
9/21(水)	曇		9:00~12:00						1	1				
9/22(木)	雨		—											
9/23(金)	曇のち晴のち大雨		9:00~12:00					1					2	2
9/24(土)	雨		—											
9/25(日)	雨		—											
9/26(月)	快晴	秋風	9:00~14:00		1	1	2	2	1	2	23			3
9/27(火)	曇		9:00~13:00		1								1	1
9/28(水)	曇		9:00~12:00						2					
9/29(木)	曇		9:00~12:00							1				1
9/30(金)	晴		9:00~12:00							1			1	



野鳥情報

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇12月10日、カワウ、コサギ、ダイサギ、アオサギ、コガモ、ヒドリガモ、カルガモ、マガモ♂1羽♀1羽、イカルチドリ3羽、イソシギ1羽、セグロカモメ4羽、ユリカモメ、アオジ、カシラダカ、シメ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、カケス、オナガ約20羽など計36種。カケスが減った。12月14日、イカルチドリ、セグロカモメ、カワセミ、オオタカ成鳥、カシラダカ、シメ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ♂など計34種。12月21日、元荒川でゴイサギ若鳥、カワセミ、オオタカ若鳥。12月27日、カイツブリ、カワウ、コサギ、ダイサギ、アオサギ、コガモ、ヒドリガモ、カルガモ、カワセミ、イカルチドリ、セグロカモメ、ユリカモメ、ツミ? カシラダカ、シメ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、カケス1羽など計36種。1月5日、上空を飛回り、木々にとまった群れを見たらツグミ60+だった。今渡って来たといった印象。中にアカハラ1羽が混じっていた。1月25日、村国池でカワセミ♀1羽、ホバリングして池につこんでいた。アカハラは林床でゴソゴソ(鈴木紀雄)。◇12月23日、オオタカ成鳥1羽飛翔。村国池でオオタカ若鳥2羽、それぞれ別方向に飛び去る。数分後、1羽が戻ってきて、木にとまるが、カラスにモビングされて飛び去る。シロハラ1羽、シメ1羽。元荒川でイカルチドリ2羽。1月2日、ツグミ5~6位の群れであちこちに多数。ようやくツグミの群れが到着か。シメ3羽。元荒川でイカルチドリ2羽(藤原寛治)。

さいたま市岩槻区慈恩寺橋 ◇1月3日、橋の街灯上にセグロカモメ成鳥1羽(鈴木紀雄)。

菖蒲町種足 ◇12月19日、圃場整備で大規模に土が掘られたり、むき出しになっている一角でミヤマガラス約300羽が群れる。ハシボソガラスも混じる。よく探したらコクマルガラス暗色型が4羽(鈴木紀雄)。

伊奈町羽貫 ◇12月19日、伊奈学園裏手の田んぼでミヤマガラス約200羽、ハシボソガラスも1割程混じる(鈴木紀雄)。

春日部市谷原新田 ◇12月28日、草地でタゲリ1羽(鈴木紀雄)。

さいたま市見沼区大谷環境広場 ◇12月21日、ツグミ21羽、タシギ17羽、イカルチドリ3羽、ハクセキレイなど。12月22日、イカルチドリ3羽と思ったら2羽はコチドリだった。タシギ10羽+など。1月20日、タシギ3羽、イカルチドリ1羽、ツグミ20羽+など(鈴木紀雄)。

さいたま市見沼区見沼自然公園 ◇1月12日、オナガガモ約60羽が人も恐れず草地で採餌、池にも約60羽。マガモ10羽、コガモ約20羽、ホシハジロ♀1羽、オオバン、バン、カルガモなど(鈴木紀雄)。

さいたま市見沼区膝子 ◇1月23日、耕作地の農道でタゲリ3羽。雪の溶けた地面にはヒバリ約20羽がウヨウヨ(鈴木紀雄)。

さいたま市桜区大久保農耕地 ◇1月10日、C区で枯木にとまるノスリ1羽(鈴木紀雄)。

さいたま市桜区彩湖 ◇1月24日、彩湖の北端でカンムリカイツブリ約15羽、ヨシガモ約10羽、キンクロハジロ、ホシハジロ、ハシビロガモ、ユリカモメなど。葦原の燃えた跡地でタヒバリ約10羽が採餌していた(鈴木紀雄)。

さいたま市大宮区第三公園付近 ◇1月16日、芝川の中州にカルガモ、コガモ、キンクロハジロ、ホシハジロ、オナガガモ、オカヨシガモが身を寄せ合っとうずくまり、直ぐ脇にタシギが2羽仲良く採餌、川面にユリカモメが数羽浮かんでいた。少し下流の土手の木、4m程の小枝からカワセミが見事なダイビング、めがけた魚を捕りそこね残念そうに小枝に戻っていった(赤堀尚義)。

さいたま市大宮区氷川神社 ◇1月29日に、「ミヤマガラスが氷川の柱に罅入りしている」との情報をもらいました。2月4日、確認しました。午後4時30分頃、大宮公園ボート池の東北端の落葉高木にカラスの群れ。望遠鏡で確認すると、間違いなくミヤ

マガラス！ ハシボソガラスとハシブトガラスも混在。時間が経つにつれてミヤマガラスの数が増えてきました。最大時で約60羽。午後5時22分、群れが一斉に飛び立ち、競輪場上空を旋回した後、氷川の柱に降り立ちました。群れが飛び立った後の落葉高木には、ハシブトガラス1羽とハシボソガラス数羽が取り残されていました(浅見徹)。

さいたま市浦和区大原サッカー場付近 ◇1月16日、グランド脇のすっかり葉の落ちた桜の木にシメが8羽、寒いのかかたまっていた。隣の木ではヒヨドリがけたたましく騒いでいた。1月30日、グランド脇の桜の木に朝日を背にして、1羽のカシラダカが凜としてとまっていた。今シーズンは3度目の姿、しばし見入ってしまった(赤堀尚義)。

さいたま市浦和区大原サッカ場付近 ◇2月10日、グランド脇の休耕田の芦原でベニマシコの声、しばらく耳をすましていると♀タイプ1羽が飛び出し直ぐ近くに止まってくれた。近くの通路にホオジロ、アオジ、スズメが入り乱れて盛んに餌をついばんでいた(赤堀尚義)。

さいたま市浦和区高砂 ◇1月24日、県庁の駐車場上空でハヤブサ成鳥1羽、割と低空を何度も飛回る。辺りではカラス達が騒いでいる。一度突っ込んだが、狩は失敗。よく見ると飛行中、左脚が格納できずに体からでっばっており、ケガかも知れない。5分以上飛回っていた(鈴木紀雄)。

蓮田市黒浜 ◇1月11日、療養所内で樹間を飛ぶハイタカ1羽。カシラダカ100羽程の群れ。1月26日、療養所内でカケスが次々に移動、計5羽。ルリビタキ♀が小径を横切る(鈴木紀雄)。

蓮田市川島 ◇1月19日、本荒川でキセキレイ、ヒドリガモ、コガモ、コチドリ、タシギ、セグロセキレイ、シメ、アオジ、カシラダカ、オオジュリン、ホオジロ、カワセミなど計25種(本多己秀)。

久喜菖蒲公園昭和沼 ◇1月14日、コハクチョウ3羽、上空を北へ向かって飛んでいた。アメリカヒドリのパア、トモエガモ



2月7日吉見町八丁湖・ミヤマホオジロ
(小林ますみ)

のパア、オカヨシガモのパア、ヨシガモ♂。いずれも、カルガモと一緒に南側の岸辺でのんびりしていた(長谷川訓寿)。

吉見町八丁湖 ◇1月2日、ルリビタキ♂1羽♀1羽、ミヤマホオジロ5羽、ビンズイ5羽、ジョウビタキ♂1羽♀1羽、カシラダカ多数など計27種。ビンズイとミヤマホオジロが同一視界で地上に降りていて、新年早々幸運に恵まれた(本多己秀)。

狭山市稲荷山公園 ◇1月16日、上空でヒメアマツバメが40羽ほどダンゴ状態で乱舞、鳴き声にぎやか(久保田忠資)。

本庄市利根川 ◇1月16日正午頃、坂東大橋下流1キロの地点にてコハクチョウ16羽と一緒にオオハクチョウ幼鳥3羽、遊泳したり岸辺に上がり草を啄んだりしていた。コハクチョウとオオハクチョウの混群が珍しかった(町田好一郎)。

坂戸市城山 ◇1月29日午前11時30分、林縁の池ぎわの木の枝にとまるベニマシコ♂2羽、♀1羽。10分間も観られた。他にシロハラ1羽、ルリビタキ♀1羽、エナガ、シジュウカラ、メジロ、コゲラの混群。カケス数羽、アオジ1羽。ささやぶの中がさがさ音がするのでしゃがんで見ると、ガビチョウと目があった。距離2メートル(増尾隆)。

表紙の写真
コウノトリ目サギ科コサギ属チュウサギ
蟹瀬武男(さいたま市)



行事案内



ヒバリ(久保田忠資)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちがあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費：一般 100 円、会員と中学生以下 50 円。持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡などの観察用具も（なくても大丈夫）。解散時刻：特に記載のない場合正午から午後 1 時ごろ。悪天候の場合は中止、小雨決行です。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：4月1日(土)

集合：午前8時10分、東武日光線柳生駅前
または午前8時30分、中央エントランス駐車場。

交通：東武日光線新越谷 7:11→春日部 7:25
→栗橋 7:54→柳生 8:04 着。または JR
宇都宮線大宮 7:07→栗橋 7:41 着、東
武日光線乗り換え。

解散：12時ころ、谷中村史跡駐車場。

担当：内田、橋口、玉井、田邊、四分一、中
里、植平、鬼塚

見どころ：干し上げ後の谷中湖に水は入るが、
水鳥は？ 史跡ゾーンでは葦焼き後の
大地に春の渡りの鳥たちや、気の早い
夏鳥が姿を見せてくれるでしょうか。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：4月2日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園駐車場。

交通：JR 高崎線北本駅西口アイメガネ前から
北里メディカルセンター病院行きバス
8:40 発「自然観察公園前」下車。

担当：榎本(秀)、岡安、大坂、内藤、島田、
立岩、永野(安)、永野(京)、山野、今
井、長谷川

見どころ：春の石戸宿は、蒲桜に江戸ひが
ん桜。人におされて鳥は葉隠れしている
けど、皆さんの眼力で見つけましょう。

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

<ヘルシーロードコース>

期日：4月2日(日)

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園
駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR 浦和駅西口バス1番乗り場から、浦
和美園駅行き 8:31 発、「念仏橋」下車。

後援：浦和くらしの博物館民家園

担当：伊藤(芳)、手塚、工藤、倉林、若林、
新井(勇)、土澤、石田、赤堀、藤田(敏)

見どころ：いろいろな花が咲いて、いろいろな鳥
もいます。いろいろな人たちの出会いも
あって、見沼の春は「いろいろな」です。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：4月9日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷 9:11 発、または寄居 8:49
発に乗車。

担当：後藤、和田、森本、中里、石井(博)、
倉崎、高橋(ふ)、藤田(裕)、栗原、大
澤、飛田、新井(歳)

見どころ：ちょうど満開の桜の下での探鳥会。
花、人、鳥でにぎやかになりそう。春
風に誘われて歩きませんか。秩父路を
往く SL の力強い走りも魅力です。

所沢市・狭山湖探鳥会

期日：4月9日(日)

集合：午前9時30分、西武狭山線西武球場
前駅前。

担当：石光、長谷部、久保田、高橋(優)、持
丸、小林(ま)

見どころ：冬鳥に別れを告げる4月の狭山湖。

想定外の珍客が立ち寄るかも。

『しらこぼと』袋づめの会

日時：4月15日(土)午後3時～4時ころ
会場：支部事務局108号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：4月16日(日)
集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。
後援：さいたま市立浦和博物館
担当：楠見、福井、手塚、倉林、渡辺(周)、若林、小菅、赤堀、新部、増田、青木
見どころ：昨年は桜の開花が遅れて花見探鳥会となったが、今年は桜かな、青葉かな。4月はスタートの季節、鳥見のスタートはお友達を誘って、普通の鳥が見られる見沼田んぼへどうぞ。

さいたま市・秋ヶ瀬公園探鳥会

期日：4月23日(日)
集合：午前9時10分、諏訪前橋バス停付近。
交通：京浜東北線浦和駅西口バスロータリー5番乗り場から、荒川総合公園行き8:40発「諏訪前橋」下車。
担当：倉林、海老原、百瀬、渡辺(嘉)、新部、赤堀、増田
見どころ：また渡りの季節がやってきました。何が出るかはお楽しみに。去年はキツネの親子も出ましたよ。

東松山市・物見山探鳥会

期日：4月23日(日)
集合：午前9時30分、物見山駐車場(峠を越えた右側)。
交通：東武東上線高坂駅西口から、川越観光バス鳩山ニュータウン行き8:51、9:01発「大東文化大学前」下車、バス進行方向へ徒歩約5分。
担当：藤掛、島田、岡安、後藤、増尾、池永、高橋(優)、志村、山田(義)、林、中村(豊)
見どころ：ヤマツツジ、チゴユリの咲く山道をカラ類、キツツキ類、ツグミの仲間、

エナガなどを探しながらのんびりと。

春日部市・内牧公園探鳥会

期日：4月29日(土・祝)
集合：午前9時15分、アスレチック公園前駐車場。
交通：東武伊勢崎線春日部駅西口朝日バス③番乗り場から、彩光苑・春日部エミナス行き8:45発「共栄大学・短大前」下車。西へ徒歩3分。
担当：石川、吉安、橋口、新井(良)、松永、宮下、吉岡(明)、野村(弘)、野村(修)
見どころ：新緑の雑木林に立ち寄る夏鳥を探しましょう。もしかしたら、キビタキ、センダイムシクイのさえずりが……。

シギ・チドリ類県内調査

期日：4月29日(土・祝)
埼玉県支部では、春と秋の2回、独自にシギ・チドリ類の調査を行っています。とくに下記の地点では、多くの会員のご協力をお願いします。

◆ 大久保農耕地(さいたま市)
集合：午前9時30分 大久保浄水場の北西角 近くの土手の上、グラウンド入り口。
担当：石井 解散：昼頃の予定。
調査のため参加費は不要。雨天でも実施。シギ・チドリが大変少ないこともあります。

群馬県・四万温泉周辺探鳥会(要予約)

期日：5月13日(土)～5月14日(日)
集合：13日午前7時50分、JR大宮駅西口ソニックシティ大ホール前広場。
交通：往復とも貸し切りバスを利用。
解散予定：14日午後5時ごろ、大宮駅西口。
費用：22,000円の予定(バス代、1泊2食付き宿泊費、14日の昼食代、保険料など。万一過不足の場合は当日精算)。
定員：25名(先着順・当支部会員限定)。
申込み：往復はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記、橋口長和へ。
担当：橋口、玉井、田邊、
見どころ：新探鳥地。四万温泉に泊まっ

探鳥会。昼はキビタキ、オオルリを楽しんで、夜は露天風呂につかりながらコノハヅクの声が聞こえるかも。

ご注意：宿舎は国民宿舎ゆずりは荘(<http://town.nakanojo.gunma.jp/yuzuriha/>)。男女別の相部屋です。個室のご用意はできません。

長野県・戸隠高原探鳥会 (要予約)

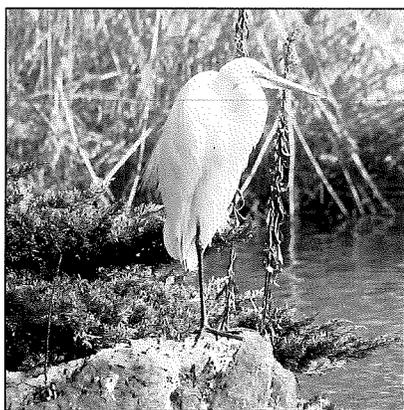
期日：5月27日(土)～5月28日(日)
 集合：27日午前9時、長野駅新幹線改札口を出て右側コンコース。

交通：長野新幹線あさま503号(東京6:52→大宮7:18→熊谷7:32→高崎7:50→長野8:43)、または、あさま505号(東京7:28→大宮7:52→長野8:53)

費用：11,000円の予定(1泊3食、現地バス代、保険料など。万一過不足の場合は当日精算)。集合地までの往復交通費は各自負担。

定員：30名(先着順、県支部会員優先)
 申し込み：往復はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号、喫煙の有無を明記、菱沼一充()へ。

担当：菱沼(一)、藤掛、中里、長嶋
 見どころ：昨年は雪が多かったせいか花も見頃でした。今年も期待できそう。黒姫山の麓まで行ってみようと思います。
 注意：宿泊は男女別の相部屋です。個室のご用意はできません。



ダイサギ(落合英二)

2005年埼玉県内鳥見ランキング結果発表!! 普及部

観察鳥種数部門、探鳥会参加数部門ともに、藤澤洋子さんと鈴木敬さんが4年連続チャンピオンになりました。藤澤さんは一昨年141種、昨年148種に続き、とうとう150種の大台を突破。

鈴木さんは、平均週1回の探鳥会をコンスタントに楽しみながら、観察種も135種と上昇中、堂々第2位となっています。

2005年観察鳥種数ランキング

順位	種数	観察最終日	氏名
1	154	12月21日	藤澤洋子
2	135	12月25日	鈴木 敬
3	131	11月19日	新部泰治
4	128	12月8日	玉井正晴
5	127	12月25日	植平 徹
6	126	12月27日	田邊八州雄
7	114	12月14日	新井 浩
8	113	11月27日	青木正俊
9	105	12月18日	四分一保雄
10	100	12月5日	久保田忠資
10	100	12月25日	中川敏子
10	100	12月25日	青木里美(小6)
10	100	12月25日	青木夏美(小3)
14	98	12月28日	宇田川武男
15	90	11月29日	橋口長和
17	81	10月8日	榎本秀和

2005年探鳥会参加ランキング

順位	回数	探鳥地数	氏名
1	53	29	鈴木 敬
2	49	27	新井 浩
3	45	27	新部泰治
4	42	25	青木正俊
5	41	25	藤掛保司
6	38	16	栗原省二
7	37	22	植平 徹
8	34	23	鬼塚勝靖
9	31	19	玉井正晴
10	29	21	中川敏子
11	28	18	四分一保雄
11	28	18	青木里美(小6)
13	27	18	青木夏美(小3)
14	18	15	宇田川武男
15	16	11	藤澤洋子
16	12	10	榎本秀和
17	10	9	青木真弓
18	9	5	橋口長和



行事報告

12月4日(日) さいたま市 民家園周辺

参加：40名 天気：曇

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ
コガモ オナガガモ チョウゲンボウ キジ バ
ン イソシギ ユリカモメ キジバト カワセミ
ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨ
ドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス
シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ
アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ
ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) 今シー
ズンの厳冬を連想させる手足の先や耳が痛くなる
程の寒い日だった。トピックは上空を舞った50～
60羽位のツグミの群れ！ (伊藤芳晴)

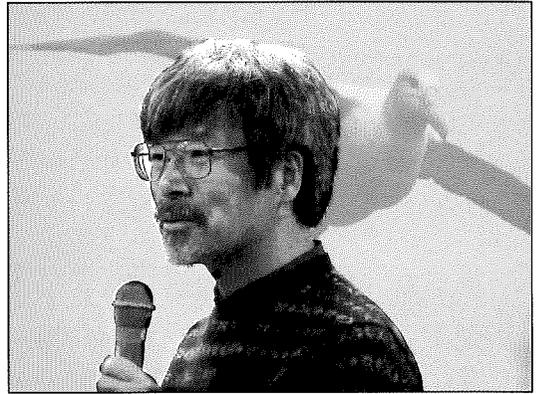
12月17日(土) 年末講演会

参加：65名 場所：埼玉会館

第1部では、「ビデオで振り返るこの1年」と題し、町田好一郎(本庄市)、菱沼一充(白岡町)、手塚正義(川口市)および海老原美夫(さいたま市)の3会員が、それぞれの1年間の探鳥記録を上映。

第2部は、アホウドリ先生として知られている東邦大学理学部教授、長谷川博先生の「アホウドリ保護研究30年」と題した講演本番。先生は1年の1/3を鳥島で活動しており、絶滅寸前であったアホウドリを、1999年5月には推定総個体数が1000羽を超えるまでに回復させた業績等で、数々の賞を受賞されています。鳥島のコロニーが崩壊のおそれがあるので、西側にも新しいコロニー作りを行っていること、尖閣諸島にも約300羽の集団があること、小笠原諸島の鴛島への移住の可能性を探っていることなど、スライドを織り交ぜながらのお話がありました。

第3部?の懇親会では、長谷川先生を囲み、講演の続きの話や鳥島での生活、とくに、電気がないので、好きなビールを常温で飲んでいるが、どの銘柄が美味しいかなど、さんずいの酉の話まで話題が広がり、和気藹々のなか、散会となりました。(橋口長和)



長谷川博先生

12月18日(日) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加：32名 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ キンクロハジロ バン キジバト コゲラ
ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ ヒヨドリ ツグミ ウグイス キクイタダキ ヒガラ
シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ
アオジ カワラヒワ ベニマシコ スズメ カケス ハシブトガラス (31種) 大空に千切れ雲が流れ行く、落ち葉が宙に舞う。本当に風が強い日。スタートは切ったものの鳥が出ない。トップを切ったのはカワラヒワ、後はヒヨドリの鳴き声ばかり。でも落ち葉のラッセルの中、出たのは松の根方にビンズイ。多くの人が見られたと思う。他にはこんな形で見られたのは、カモの仲間とカワウにアオサギ、バンくらいかな。かつて鳥影の濃さがここの特徴だったのがうそみたい。12月で沼に氷が張るのも珍しいが、その上を歩くセグロセキレイが滑って、「あ! 滑った」と声上がるのも楽しかった。山田大沼での寒風の中、震えながら鳥合わせ。終わって見たら31種。出現最低記録の更新とならなくてリーダーはホ! 帰途ノスリが美しい斑を見せて舞ったが、遅い! (内藤義雄)

12月24日(土) 幸手市 宇和田公園

参加：27名 天気：晴

カワウ ダイサギ アオサギ コガモ オオタカ
チョウゲンボウ イカルチドリ イソシギ タシギ
キジバト カワセミ コゲラ ハクセキレイ
セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ
ツグミ シジュウカラ メジロ ホ

オジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (29種) 小春日和の中、ここでは最初の探鳥会を、期待と不安をこめてスタートした。まず公園の林の中では、メジロ、コゲラが姿を見せてくれた。樹冠部では、ツグミが鳴き交わしていた。まだ、なかなか地面に降りてこない。田んぼに出ると用水の溝の中でタシギがじっと擬態して動かないでいた。青空の中チョウゲンボウが気持ちよさそうに舞っていた。途中、用水の縁にカワセミが出た。相変わらずの人気だ。中川のアシ原に出ると早速オオタカのお出迎え。中州では数羽のイカルチドリが羽を休めていた。英気を養って移動して行くのだろうか。途中から風が出てきたが、お天気に恵まれてのんびりムードの暮の探鳥会だった。最後に鳥合わせ直前にオオタカが目の前を飛んでいった。

(中里裕一)

12月25日(日) 加須市 加須はなさき公園

参加：52名 天気：快晴

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ ハヤブサ チョウゲンボウ ムナグロ イソシギ ユリカモメ シラコバト キジバト カワセミ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ミヤマガラス ハシボソガラス ハシブトガラス (37種) 師走に関わらず50名あまりが参加し、天候にも恵まれた探鳥会だった。開始をせがむようにオナガやシラコバト、カワラヒワが飛び交い、中盤は川面をカワセミが飛び、ジョウビタキの♀が躍り出て、終盤は越冬ムナグロを全員が見ることができて、興奮の連続だった。「初心者を大切にす探鳥会」を合言葉に、黄色いボン作戦を展開し、和気藹々の内に2005年最後の探鳥会を終えた。

(長嶋宏之)

1月3日(火、休) さいたま市 さぎ山記念公園

参加：53名 天気：晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ ホシハジロ オオタカ バン オオバン タゲリ タシギ キジバト カワセミ コゲラ

ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (40種) 正月時刻表に適切な時間のバスがなく、何人かが相乗りタクシーで。ありがとうございました。お蔭様で、オオタカが上空を舞いました。4年ぶりにタゲリが降りていました。カワセミが水面を飛びすぎました。懇親会では、シロガシラアカショウビン別名シブチョウのさえざりも聴こえました。

(海老原美夫)



1月5日(木) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加：57名 天気：曇後晴

カイツブリ カワウ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ ホシハジロ キンクロハジロ ノスリ コジュケイ バン キジバト アカゲラ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ミソサザイ ルリビタキ ツグミ ウグイス エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ アオジ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (35種) 正月5日。寒く、曇り空のために参加者が少ないと心配。集合時間には50数名の参加があった。新年にあたり、武蔵丘陵森林公園の自然を考える会代表の谷津弘子さんからNPO法人になったお話し、武蔵管理センターの福本信濃夫さんから、入園者が少ない時期の大勢の来園歓迎のご挨拶をいただいた。今年は各池に氷が張り、鳥影は少なく、落ち葉を踏みながらのバードウォッチング。山田大沼でカワウの巣作りを見てから、多目的ホールで暖をとり、鳥合わせを済ませ、お弁当を食べながら歓談した。

(藤掛保司)



キジ (古澤洋子)



●「昭和沼」に訂正します

前月号のサカツラガンでも話題になった久喜菖蒲公園の「昭和沼」、従来は探鳥会案内などで「昭和池」と表示していましたが、正しくは「昭和沼」と呼ばれていますので、今後はそのように表示します。

●普及活動報告

1月26日(木)さいたま市立岸中学校の2年生から、総合的な学習のために野鳥に関して FAX で質問。事務局で回答しました。

2月12日(日)金勝山で開催された比企郡小川町の小川げんきプラザ主催野鳥観察会で、後藤康夫・青山紘一・中村豊己が指導しました。

2月22日(水)さいたま市見沼区で開催された同区片柳公民館主催のバードウォッチング講座で、松村禎夫・赤坂忠一が指導しました。

3月4日(土)比企郡嵐山町国立女性会館周辺で開催された「早春の自然観察-星と鳥と-」の野鳥観察会で、後藤康夫が指導しました。

●水辺の宝石かわせみ展

主催・会場 さいたま川の博物館(大里郡寄居町

小園 39、TEL 048-581-8739、FAX 048-581-7332、<http://www.river-museum.jp/>、鉢形駅から徒歩 20 分)

期間 3月18日(土)~6月18日(日)

入館料 一般 310 円

内容 人との関わりが古いカワセミの美術資料・写真・アオショウビンの剥製などを展示。

●事務局の予定

4月1日(土)編集部・普及部会議。

4月8日(土)5月号校正(午後4時から)。

4月15日(土)袋づめの会(午後3時から)。

4月16日(日)役員会(午後4時から)。

●会員数は

3月1日現在 2,308 人です。

活動報告

2月11日(土)3月号校正(海老原美夫・喜多峻次・大坂幸男・山田義郎)。

2月12日(日)日野市 WING で開催された本部の常務会と理事会に出席(海老原)。

2月19日(日)役員会(司会:藤掛保司、各部の報告・5月から8月までの行事予定など)。

2月20日(月)3月号を発送(倉林宗太郎)。

編集後記

福岡の和白干潟に行った。干潮で鳥は遠く、ソクシガモ 200 羽位とミヤコドリ 3 羽。帰り際、以前この欄にも書いたデジカメを道路に叩き落してしまった(それも 2 回も!)。保証対象外で修理費見積もり 16,500 円。半年前に 17,500 円で買ったのに。(藤原)

マレーシアでビデオカメラを落とし、舗装道路の上ではずんだ姿は、悲しかったな。旅行保険をかけていたので、修理代は戻ってきたけど。春です。カメラの落下事故にご用心!(海)

しらこぼと 2006 年 4 月号(第 264 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)

発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130

〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号

TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460

<http://35.tok2.com/wbsjsaitama/>

編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com

住所変更退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台 1-47-1 小田急西新宿ビル 1 階

(財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生コート紙を使用しています。印刷 関東図書株式会社